

新年のご挨拶



中国しんきん健康保険組合

理事長 山本徹

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさんにおかれましては、清々しい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、当健保組合の事業運営に対し、平素より多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年、わが国は東日本大震災というかつてない大きな災難に見舞われました。そのようななか、人々が互いに助け合い、苦境に立ち向かっていく姿に、人との絆・つながりの大切さを再認識し、また、家族が無事に健康でいられる喜びをあらためて感じられた方も多いことでしょう。

健保組合も、これまで互いに仲間を支え、健康を守るパートナーとしてさまざまな事業を展開してまいりました。

しかし近年、全国の健保組合では、みなさんの健康をサポートするための活動が十分に行えない事態に追い込まれています。かねてからの景気低迷により保険料収入が減少する一方で、高齢者医療制度に対して納付金・支援金を拠出しなければなら

ないことが非常に大きな負担となっており、健保組合財政は悪化の一途をたどっています。

その結果、平成23年度予算においては、多くの健保組合で保険料率の引き上げや積立金の取り崩しにより対応せざるをえない状況であり、安定的な健保組合運営が非常に難しくなっているのが現状です。

一方、政府は昨年とりまとめた「社会保障・税一体改革成案」に基づき、今後、医療保険制度の改革を行う予定ですが、現段階の案は、健保組合にさらなる負担を求めるような内容となっており、到底受け入れられるものではありません。国は今後も議論を続けていくと思いますが、健保組合に負担を付け回すようなしくみがこれ以上構築されることのないよう、私たちも今後の議論の行方を注視してまいりたいと考えております。

以上のように本年も厳しい情勢が予想されますが、健保組合は、特定健診・特定保健指導をはじめとしたさまざまな疾病予防事業を行い、本来の使命であるみなさんの健康増進を、積極的にサポートしてまいり所存です。みなさんもぜひ日々の生活に健康づくり習慣をとり入れ、すこやかに過ごしてくださいませよう願っています。

最後になりましたが、みなさんのますますのご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。